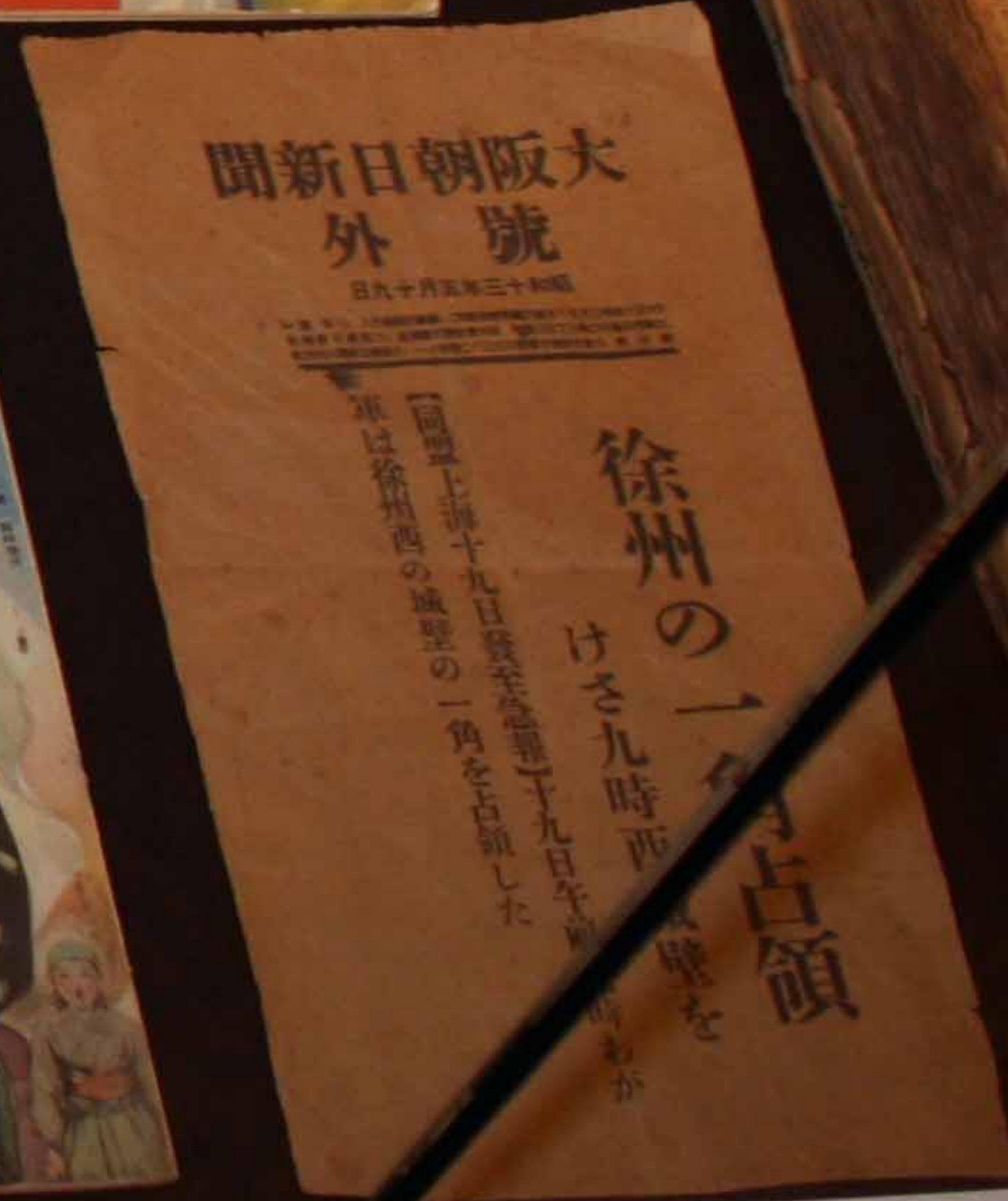
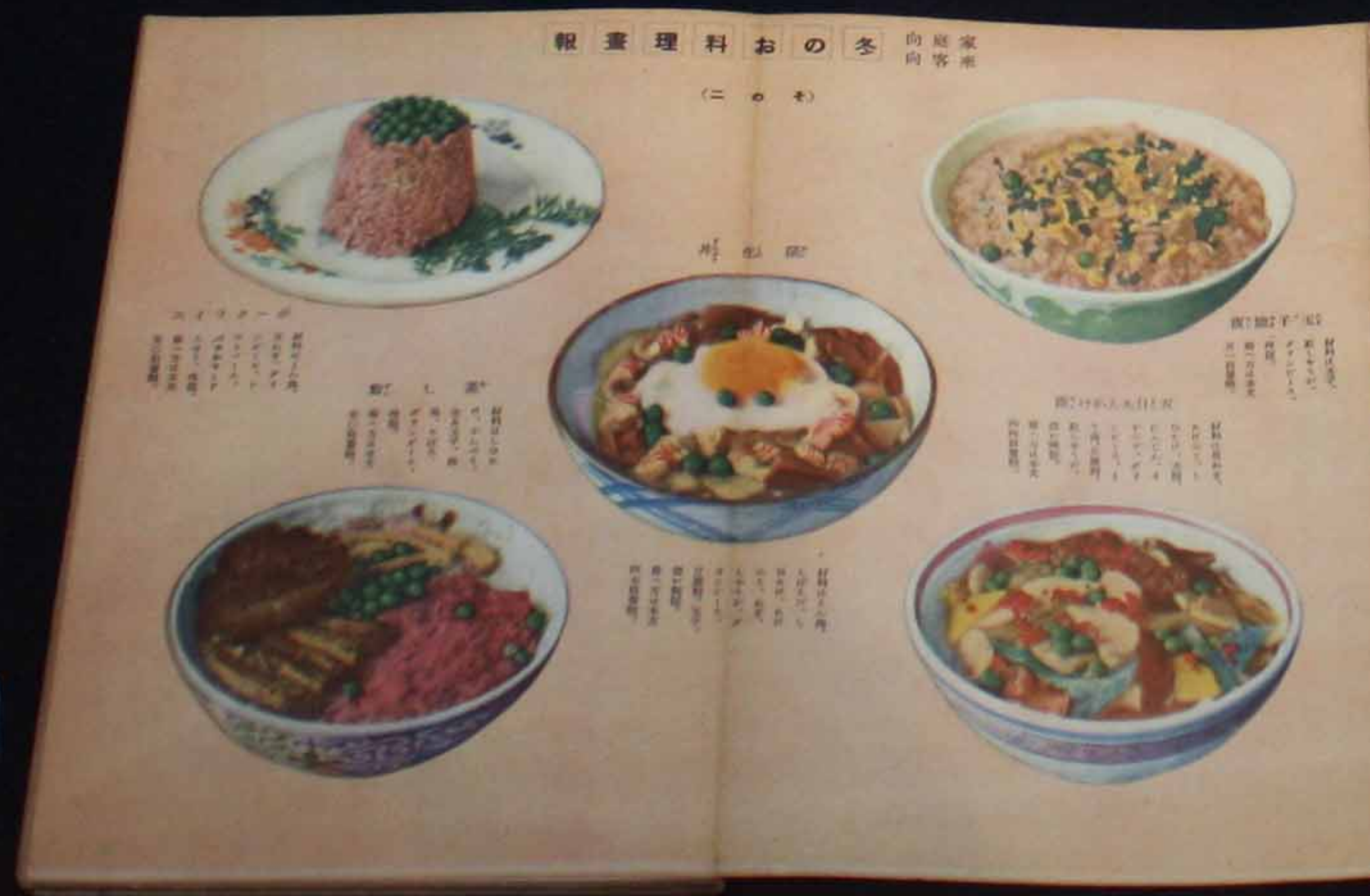


和 権作
 久文 八重
 徳子
 生死 一貫
 大森 祐男
 必勝 必健康
 大森 栄
 信子
 應 康 凱 族
 井 と 十 恵
 代 牧 郵 太
 村 子 裕 子

日の丸寄書き
 昭和13年(1938)4月
 右は上野府出身で海軍に入隊された方への寄書き、左の寄書きには旧籍内部の薩内次郎兵衛氏やその弟の正次氏の名前が見える。

I. 開戦、そして戦争の時代
 昭和5年(1930)の昭和恐慌を契機に、中国大陸に資源と活路を求めた日本は、昭和7年(1932)中国に満州国を設立させ、昭和12年(1937)、北京郊外の盧溝橋事件をきっかけに日中戦争が始まった。
 その後、アメリカやイギリス等による対日経済封鎖により行き詰った日本は、昭和16年(1941)12月8日、太平洋戦争に突入した。
 日本海軍は、アメリカ海軍の基地があるハワイ・オアフ島の真珠湾を奇襲攻撃し、日本陸軍はイギリスの植民地マレー半島に上陸、翌年2月にシンガポールを占領した。



昭和初期の雑誌や豆本
 豆本は小説仕立てで、大正時代から昭和初期にかけて女学生など若者に多く読まれた。
 『婦人倶楽部』は満州事変の起こった昭和6年のものだが、ポークライスや開化弁など戦時色はまだ見られない。しかし昭和10年の『家の光』には「祖国を護れ」とあり、満州事変、第一次上海事変などの影響が日本国内にも出始めていることが窺える。

新聞号外
 木村長信資料館所蔵
 徐州会戦は昭和13年(1938)4月から6月まで中国国民党軍と日本陸軍の戦いで、5月19日に徐州の一部を占領した際の大阪朝日新聞の号外、徐州は上海北西にある。